

組み立てが簡単で美しい

鯉のぼりセット

組立・使用説明書

H-01

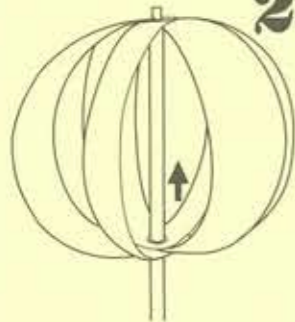
部品明細

回転球の組立

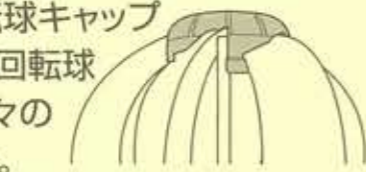
1 ①の回転球を広げます。



2 左図の様な状態にして出来るだけ球形にして下さい。下側を上を押すと丸くなります。



3 右図の様に④回転球キャップ(金色)を、広げた回転球上部に差込み、各々の溝にはめ込みます。



4 ③リングを軸の上部の横穴に差し込んで固定して下さい。



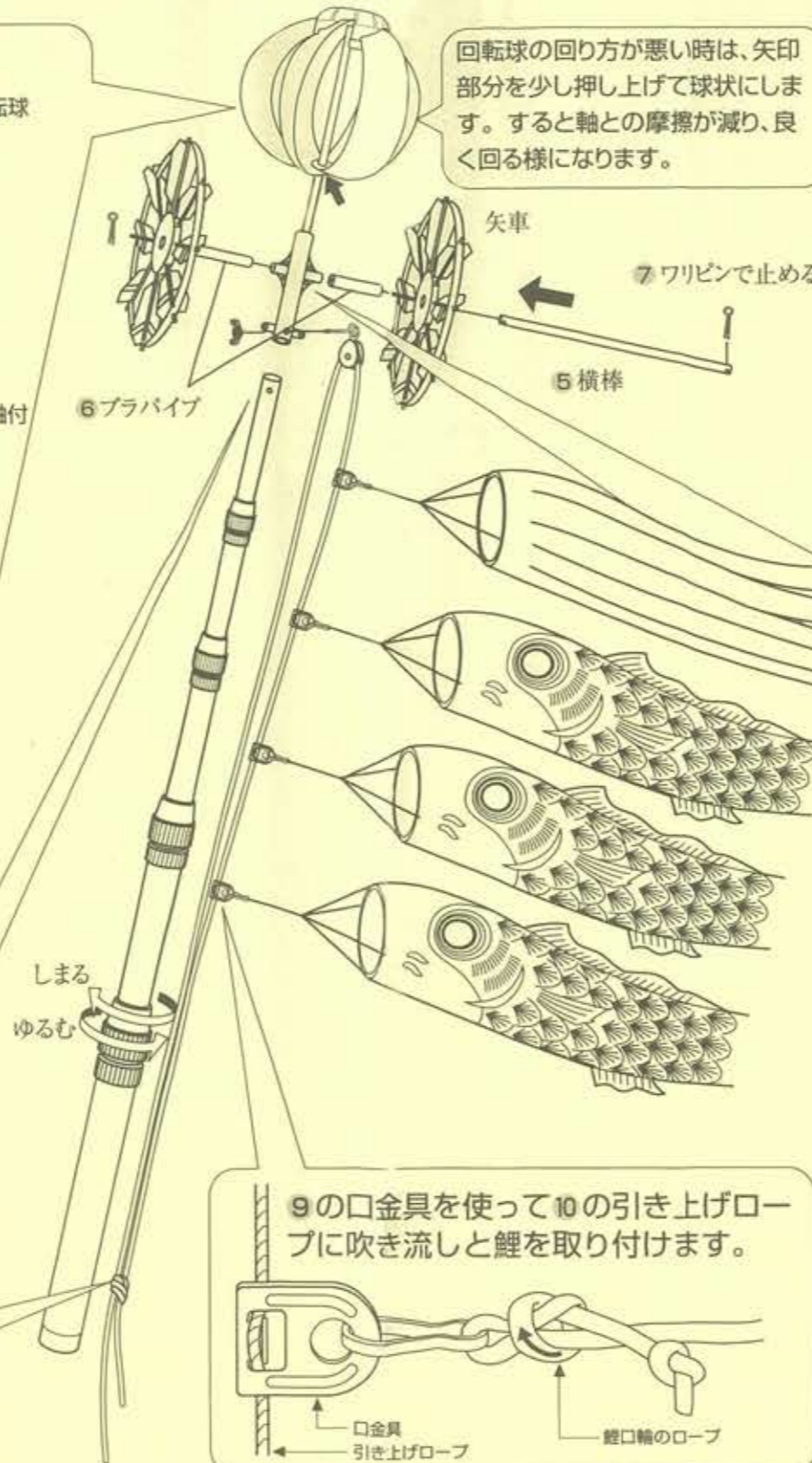
ポールの先端から各段最後まで伸ばして締めて下さい。

図は5本継ぎのものです。3本継ぎと4本継ぎのポールもあります。

ロープの先を結びポール受金具又は手摺にしっかり結び付けて下さい。

※ポール受金具の組立は別紙をご参照下さい。

回転球の回り方が悪い時は、矢印部分を少し押し上げて球状にします。すると軸との摩擦が減り、良く回るようになります。



① 回転球……1ヶ

② 十字軸付……1ヶ

③ リング……1ヶ

④ 回転球キャップ……1ヶ

⑤ 横棒……1ヶ

⑥ プラパイプ……2ヶ

⑦ ワリピン……2ヶ

⑧ 滑車付ヒートン……1ヶ
(蝶ナット付)

⑨ 口金具……4ヶ

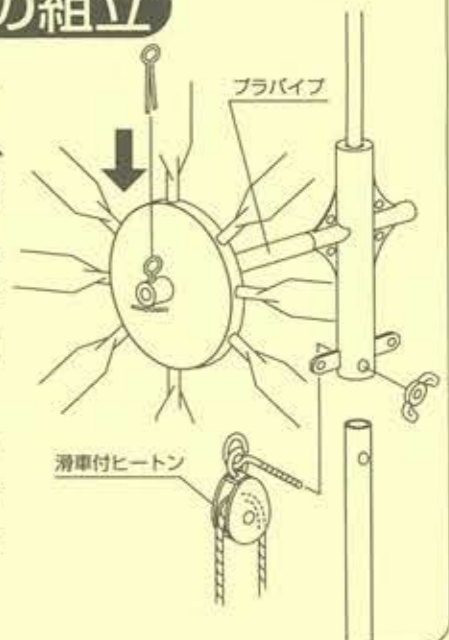
(ポール受金具の中に入っている場合もあります。)

⑩ 引き上げロープ……1ヶ

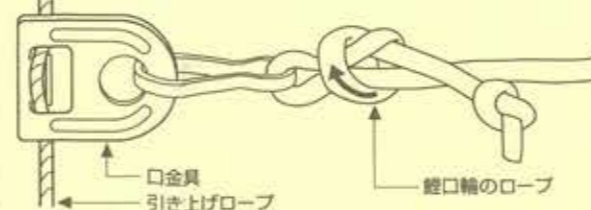
矢車部分の組立

⑤の横棒を②の十字軸付に差し込み、左右に⑥のプラパイプと矢車を入れて⑦のワリピンを差し込み曲げて固定します。

⑧の滑車付ヒートンで矢車部分とポールをつないで下さい。



⑨の口金具を使って⑩の引き上げロープに吹き流しと鯉を取り付けます。



ご注意

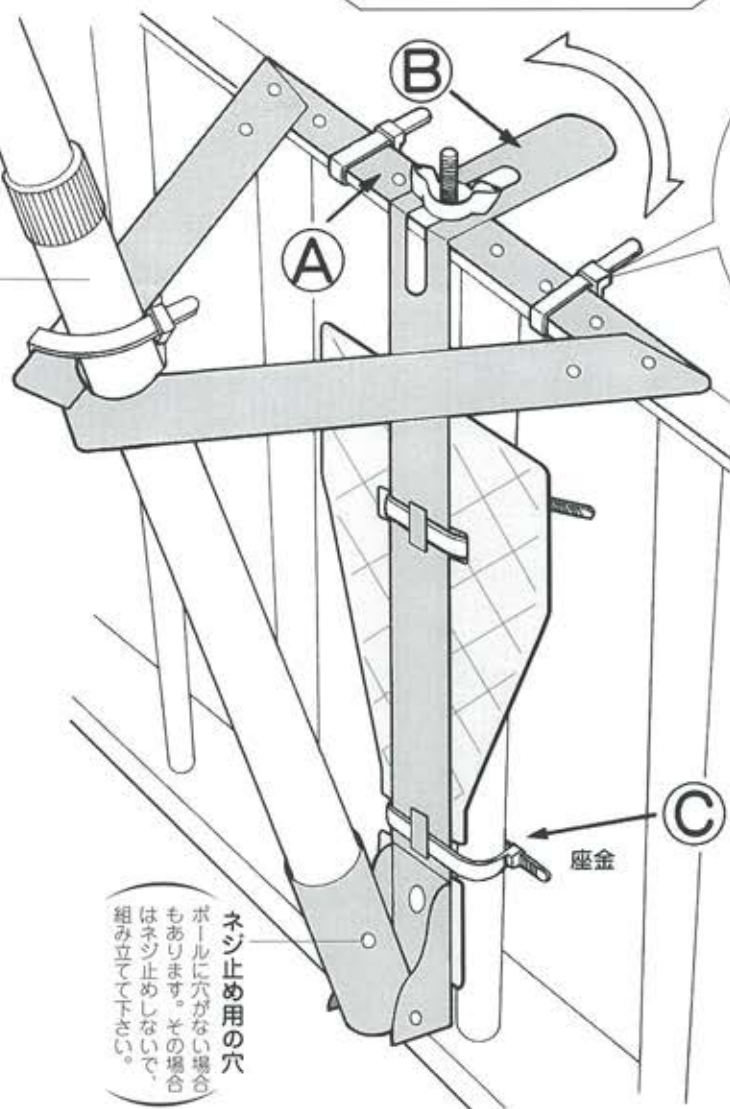
窓や屋上から外に突き出して鯉のぼりを立てられる時、電線に触れないよう充分ご注意ください。
シーズン終了後、回転球部分はできるだけ組立てたまま保存して下さい。

鯉のぼり用ポールホルダー

PAT. P

製品のご使用方法

※鯉のぼりポールとポールホルダーの三角の先端部を
ビニールタイ又は紐で結びつけて下さい。



自由な取外しができる…リビートタイのメカニズム、ナイロンの一体成型品ですが、カム部が動くように設計され、ロックを外す事が容易にできます。

柵の上の手すりに①のコーナーをあてて、②を手すりに合わせて折り曲げ仮止めしてタテ柱に③の部分をビニールタイで止めます。手すりとホルダーを固定する時は添付のビニールタイで結びます。ぎざぎざが内側です。図のようにとりはずしが出来ます。

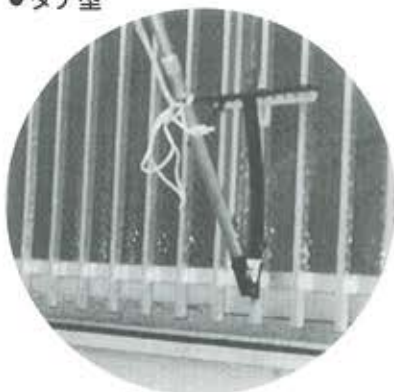
※ビニールタイが足りないときは、あり合わせの紐、針金で固定してください。

安全性を高めるため添付の白いひも(1m)でタテ柱と金具をしっかり結びつけて下さい。

ネジ止め用の穴
ポールに穴がない場合
もあります。その場合
はネジ止めしないで、
組み立てて下さい。

※風速10m以上の強風の時は鯉をはずして下さい。金具が曲がる恐れがあります。

●タテ型



●ヨコ型



●飾り金具型

